

松阪市立徳和小学校 1年 藤原 百花「わたしがすきなまつさかえき」

わたしがみらいにのこしたい三えけんのいいところはまつさかえきです。

わたしはなごやへ行くときにまつさかえきをつかいます。あさ、えきのコンビニでおべんとうをかってでん車にのります。そのときは、これからのかんがえてたのしみな気持ちです。

そして、あそんでかえってきたときは、つかれているけどえきにつくと元気なきもちになります。わたしのいえにちかづいてきたなあとおもうからです。まつさかえきはたのしい気持ちとほっとする気持ちになれるからまつさかえきがすきです。

えきのとなりにはち下のかいだんがあります。えきのおもてとえきのうらがつながっています。まつさかのおまつりのときは、そのかいだんをとおって行きます。

かいだんから出るとやたいがいっぱい見えます。いいにおいもしてきて、これからおまつりがはじまるなあとおもいます。でん車にはのってないけど、まつさかえきから出ばつする気持ちになります。

おまつりはたくさんやたいが出ているのでたくさんあるいて、フルーツあめやベビーカステラをかいます。あるいていると、ともだちにもたくさんあつてたのしいです。

かえりはまたまつさかえきのほうへあるいてかえります。そのときもつかれているけどえきのかんばんを見ながらかえると目じるしになって元気になります。だから、わたしはずっとまつさかえきのみらいにもあるといいなとおもいます。